

祇園大鳥居

かけわたす軒のいよすを隔にて内外にかをる春の袖の香・芳樹

緘手刀ヲ鳴シメ各忙ニ慣ル 店頭ノ菽乳紅裳ヲ照ス 輕輕門シ得テ稜稜整ヒ 三尺ノ泥炉雪ヲ炙テ香ル・中鳥規